



## 日本最南端の「波照間島」でアンケート調査実施！

12日から日本最南端の有人島「波照間島」にきています。竹富町役場の4名と、けいはん医療生協からボランティア参加の宮崎さんが合流し、地域医療・福祉研究所メンバーと総勢8名です。

波照間島には、5つの部落があり、3日間かけて、竹富町アンケート調査を行います。波照間島の人口は約500人で、40歳以上の方が330人いらっしゃいます。今回は、その方々がアンケートの対象です。

12日、13日は4つの部落を2会場（集落センター・部落会館）に分けて16時～と20時～の2回、計8回のアンケート記入会を開催しました。



部落会館（北部落・南部落対象）の様子



集落センター（前・名石部落対象）の様子



三線の練習をする皆さん。この後アンケートを記入していただきました。



←もうすぐ刈り入れのサトウキビの前に立つ  
けいはん医療生協の宮崎さん

夜の記入会は、終わるのが9時過ぎになります。サトウキビの植え付けで忙しい中、またお疲れの中、たくさんの方が参加してくださり感謝しています。

13日には、福祉センターに、お祭りで発表する三線の練習に来ていた9名の方にもお稽古終了後にアンケート記入をしていただきました。

「波照間島は石垣島から遠くフェリーもよく欠航するので不便だ」という意見が多数聞かれました。また、波照間島には竹富町唯一の小規模多機能型居宅介護事業所「すむづれの家」（NPO法人）があり、「夫の介護に訪問してもらった」「すむづれのサロン活動のおかげで楽しみが出来た」という声もありました。

2日間で合計67名記入していただき、預けを含めて103人になりました。